

【添付資料】 オオキンケイギクの説明

1. 特定外来生物の規制について

(1) オオキンケイギクは平成 18 年 2 月 1 日に特定外来生物に指定されました。生態系に関わる被害例を環境省ホームページ (<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/L-syo-01.html>) から抜粋しました。

長野県南箕輪村の半自然草地の調査では、オオキンケイギクが優占する群落では一年生草本が少なくなっており、オオキンケイギクによる下層の光環境の悪化が考えられた。また、強靱な性質のため全国的に野生化し、河川敷や道路にしばしば大群落をつくっており、在来生態系への影響が危惧されている。

(2) 次の項目が規制されています(環境省ホームページの一部を抜粋

<http://www.env.go.jp/nature/intro/1law/regulation.html>)。

- ・飼育、栽培、保管、運搬することは原則禁止です。
- ・輸入することは原則禁止されています。
- ・野外へ放つ、植える及び蒔くことは禁止されています。
- ・譲渡や引き渡し(販売を含む)をすることは原則禁止されています。
- ・運搬することは原則禁止されています。
- ・個体識別などの措置を講じる義務。

2. オオキンケイギク(学名: ^{コレオプシス・ランケオラタ} *Coreopsis lanceolata*) の同定の参考用説明

(環境省ホームページ <https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/shokubutsu2.pdf> を抜粋、配列を変えるなどの加工をしました)

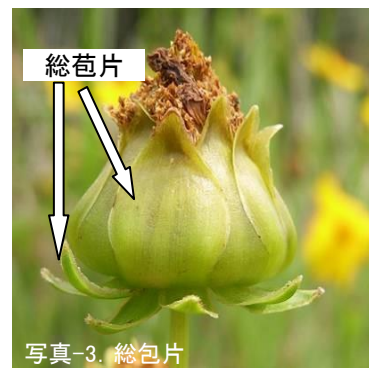
[分類]; 双子葉植物 合弁花類 キク科 ハルシャギク属(=コレオプシス属)

[別名]; コレオプシス(ハルシャギク属の総称)

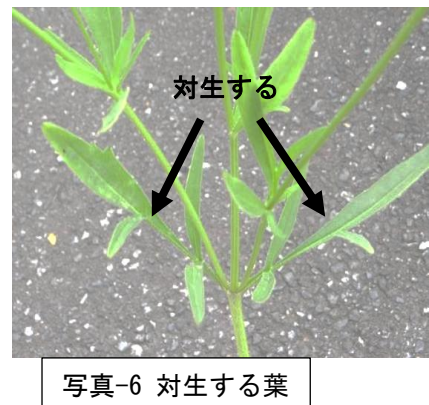
[原産地と侵入地]; アメリカ合衆国中部、南東部(ミシガン州～フロリダ州、ニューメキシコ州) 原産である。オーストラリアでは侵略的な外来種の一つとされている。日本では全国に分布する。

[形態的特徴]

(1) 花: 開花期は5～7月(写真1)。他のキク科植物と同様、小さな花(舌状花と管状花)が多数集まって直径5～7cmの頭状花を形成している(写真2)。舌状花は黄燈色で、花びらの先は不規則に4～5つに分かれる。管状花も同様の色。頭状花のまわりは二重になった総苞片に取り囲まれている。花びらの散った後の頭状花の外側を包む総苞片(写真3)。

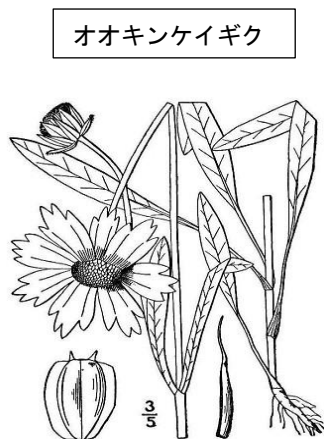


- (2) 茎；高さ 30～70cm で、根元付近から束状に多数生えている。多年草のため 2 年目以降はススキのように株立ち状になることが多い（写真-4）。
- (3) 葉；根元から生えてくる根生葉は成長すると 3～5 枚の小葉に分枝する（写真-5）。茎から生えてくる茎生葉も同様の形であるが葉柄は短く対生することが多い（写真-6）。両面とも粗い毛がある。



3. 見分け方の着眼点

葉を観察して見分けるのが良いです。オオキンケイギクの葉は先端が少しふくらみ長めで、根元に多く集まる傾向にあります。ホソバハルシャギクの葉は対生羽状複葉で列片は細長いです。キバナコスモスの葉は羽状に深く切れ込んでいます。茎に多くの葉が付いています。



オオキンケイギクの近縁種・類似種：

オオキンケイギクとホソバハルシャギクの図の出典：

USDA-NRCS PLANTS Database / Britton, N.L., and A. Brown (1913) An illustrated flora of the northern United States, Canada and the British Possessions. Vol. 3: 491-494.)

表 オオキンケイギクの近縁種・類似種の特徴（環境省ホームページ

<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/shokubutsu2.pdf> を抜粋・一部配列を加工)

| 種名 | 花の特徴 | 葉の特徴 |
|--|---|--|
| オオキンケイギク Coreopsis lanceolata 多年草 |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は初夏 ・舌状花は黄色 (一部の品種は基部が紫褐色) ・管状花は黄色 |  <ul style="list-style-type: none"> ・裂片は楕円形・粗い毛がある |
| ハルシャギク Coreopsis tictoria 一年草 |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は初夏 ・舌状花の先端は黄色、基部は紫褐色 (品種により様々) ・管状花は紫褐色 |  <ul style="list-style-type: none"> ・裂片は線形 (細長い) ・毛がない |
| キンケイギク Coreopsis drummondii 一年草 | <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は初夏 ・舌状花の先端は黄色、基部は紫褐色 (一部の品種は基部も黄色) ・管状花は紫褐色 (一部の品種は黄色) | <ul style="list-style-type: none"> ・裂片は卵形 (幅が広い) ・毛がある |
| ホソバハルシャギク Coreopsis grandiflora 多年草 だがしばしば一年草として扱われる |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は初夏 ・舌状花は野生では薄黄色から金色まで多様 ・八重咲き品種もあり ・管状花は黄色 |  <ul style="list-style-type: none"> ・裂片は細い線状披針形 (幅が狭い) (幅が広い品種も多い) ・葉が茎の上の方までつく (下の方にしかつかない品種も多い) |
| イトバハルヤギク Coreopsis isverticillata 多年草 |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は初夏 ・舌状花は黄色 (品種によって淡い黄色や橙黄色) ・管状花は黄色 |  <ul style="list-style-type: none"> ・裂片は線形 (細長い) ・毛がない |
| コレオブシス・ロゼア Coreopsis rosea 一年草 |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は初夏 ・舌状花は桃色、品種によっては赤紫、白など多様 ・管状花は黄色、品種によって橙色等 |  <ul style="list-style-type: none"> ・裂片は線形 (細長い) ・毛がない |
| キバナコスモス Cosmos sulphureus 一年草 |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は主に秋 ・舌状花は黄色や橙色 ・管状花は黄色や橙色 |  <ul style="list-style-type: none"> ・2回～3回羽状に裂ける (形がより複雑) ・短い毛がある |
| ウインター・コスモス Bidens ferulifolia 一年草または多年草 |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は主に秋 ・舌状花は黄色、5枚で幅が広い ・管状花は黄色 |  <ul style="list-style-type: none"> ・1回～3回羽状に裂ける (形がより複雑) |
| マリー・ゴールド Tagetes sp. 一年草 |  <ul style="list-style-type: none"> ・開花期は春～秋 ・舌状花は黄色や橙色 ・舌状花の先端は裂けない ・管状花は黄色や橙色 |  <ul style="list-style-type: none"> ・羽状に裂けた裂片に鋸歯(ギザギザ)がある |

※全て外来植物または園芸植物